

## ～本格的な出水期前の堤防施設点検～

## 1. 概要

本格的な出水期を前に、降雨による洪水に備え、堤防の変状等を把握する事を目的に当事務所が管理する最上川、支川の堤防区間を徒歩による目視点検を実施しました。

## ○実施日

平成30年6月13日（水）～7月20日（金）の期間 **実施日数** 15日

## ○点検場所

最上川（村山市～米沢市の堤防区間）、支川（国管理区間：須川、村山野川、寒河江川、石子沢川、馬見ヶ崎川、貴船川、置賜白川、元宿川、誕生川、鬼面川、吉野川、和田川、天王川の堤防区間） **点検延長** 178km

## ○参加者

山形河川国道事務所 職員、河川巡視員等、維持工事担当者 **延べ** 107人

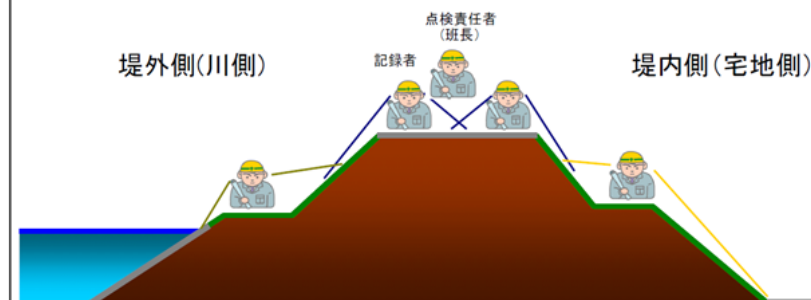
## 2. 点検結果

5人以上1組で堤防の天端・法面等を徒歩で点検しました。（1日の点検延長は約10km）

## 【点検結果】

雑草の繁茂、管理用通路舗装の亀裂等は見られましたが、緊急対応を要するような変状は確認されませんでした。今後も河川巡視等により、継続して河川管理施設等の点検を実施することとしています。

【点検イメージ】



【堤防法面の点検】



【雑草繁茂状況の確認】



【貫入棒による法面点検】



【点検後のミーティング】